

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 3 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	13	いざという時に職員と利用者が避難技術を身につけられるように自主訓練を加えてほしい。又、備蓄についても早急に準備をお願いしたい。	1・避難自主訓練について、自然災害及び火事災害時を想定した訓練を行い、職員・利用者に避難技術を身につける。 2・非常時の備蓄の用意。	1・自主訓練内用は、夜間帯を想定した非難を職員及び利用者で行い、玄関までの集合時間を把握する。 2・備蓄について、業者を選定し、品物保管場所を決めて、備蓄品・数量を決めて用意する。	6ヶ月
2	12	終末期。 指針を早めに完成させて、事業所の方針を家族等に説明し、関係者が共有できる機械を作ってほしい。	終末期指針の作成及び家族に伝えて内容の理解、共有が出来るよう対策をする。	1・今ある終末期をより家族に理解をしていただけるよう作る。 又、利用者家族、関係者に共有できる方法とる。現在の利用者家族様には、個々に説明する、家庭訪問及び、面会時に時間をいただき説明をする。運営協議会に提出して理解、共有を図る。	10ヶ月
3	5	玄関の開錠については、利用者の尊厳を保障するためにも検討を重ね、引き続き努力をしてほしい。	冬以降に、玄関の開錠日を多くする。	当日の天候及び、(本人の体調)をみながら、玄関開錠を利用者に伝え多くの利用者に、外の空気、景色、機会があれば他者との会話などで楽しんでもらえるよう考えていく。	6ヶ月
4	3	家族の代表のみならず、すべての家族に開催案内を通知して多くの家族に参加を促し、事業所の状況を知らせてほしい。	運営推進会議開催要項を利用者家族様に郵送する。家族様であれば都合がつけば、どの家族様も参加できる旨も付け加える内用にする。	会議に参加してもらえるよう促す。又参加できない家族様には、会議内容を郵送する。	5ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。